## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2003-167848

(43) Date of publication of application: 13.06.2003

(51)Int.CI.

G06F 15/00 H04L 9/08

H04L 9/32

(21)Application number: 2001-365966

(71)Applicant:

MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing:

30.11.2001

(72)Inventor:

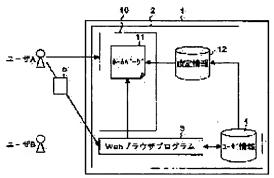
**MIYAGAWA AKIKO** ATOZAWA SHINOBU

#### (54) WEB PAGE DISPLAYING METHOD AND DEVICE

#### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a Web page display method capable of proving a proper Web browser using environment for every user even with the same login without switching the login of an OS (operating system).

SOLUTION: In this Web page displaying method, a terminal shared by two or more users performs the user authentication on the basis of the secret information and the authentication information determined for authenticating the use right of the Web browser in a stage when the input of the secret information capable of identifying the user is confirmed, the set information independently created by the user by a predetermined procedure is read out after the authentication, and the Web page on the basis of the set information is displayed.



### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

€ 皳 ধ **华** 异 噩 4 3 (18) 日本国格理庁 (JP)

特開2003-167848

(11)特許出國公與番号

(P2003-167848A)

平成15年6月13日(2003.6.13) (43)公照日

(を後)・十二ひとう		330B 5J104	0 601C	675A
	15/00		9/00	
FI	G06F		H04L	
成別記号	310	330		
	15/00		80/6	32/6
(51) Int CL.	G06F		H04L	

(年8年) 審査請求 未請求 競求項の数8 01

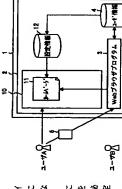
(21) 出版路号	<b>特展2001—365966(P2001—365988)</b>	(11)出现人	(71)出四人 000006013
			三数配据株式会社
(22) 出版日	平成13年11月30日(2001.11.30)		東京都千代田区北の内二丁目2番3号
		(72) 発明者	杏川 明子
			東京都千代田区九の内二丁目2番3号 三
			数电损株式会社内
		(72) 発明者	<b>被汉 赵</b>
			東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三
			遊電機株式会社内
		(74)代理人	(74)代理人 100089118
			弁理士 酒井 宏明
			一般を開い扱く

(54) 【発明の名称】 ホームベージ表示方法およびホームベージ表示装置

(51) [要約]

**適切なWebブラウザ利用環境を提供することが可能な** ン切替えを行うことなく、周ーログインでもユーザ毎に 【課題】 0S (オペレーティングシステム) のログイ ホームページ表示方法を得ること。

歳別可能な秘密情報の入力が確認できた段階で、当該秘 密情報とWebブラウザの使用権を認証するために設定 あっては、複数のユーザが共有可能な端末が、ユーザを 報を読み出し、当該散定情報に基づいたホームページを 【解決手段】 本発明にかかるホームページ表示方法に 前記ユーザにより所定の手順で個別に生成された設定情 された酩怔情報とを用いてユーザ酩柾を行い、酩柾後、



【請求項6】 複数のユーザが共有可能なホームページ 数示装置において、

**前記秘密情報とWebプラウザの使用権を認証するため** 特定ユーザからのログイン操作および自身を職別可能な 秘密情報の入力、が確認できた段階で、Webブラウザ プログラムを起動する起動手段と

に設定された認証情報とを用いてユーザ認証を行い、認 証後、前記ユーザにより所定の手順で個別に生成された 散定情報を読み出し、当数散定情報に基づいたホームへ を備えることを特徴とするホームページ表示装置。 ージを表示する表示手段と、

【醋水項7】 前記複数のユーザのうち、前記ユーザ価 別の数定情報の他に共有数定情報へのアクセス権を持つ 前記既証後、前記ユーザ個別の散定情報と、前記共有設 ユーザから、秘密情報の入力があった場合、

定情報と、を読み出し、両方の情報に基づいたホームペ 【翻水項8】 いずれかのユーザかすでにホームページ ージを表示することを特徴とする額求項 6 に記載のホー 4ペーシ数 形数 国。

を開いている状態で、新たに他のユーザがホームページ を閲覧する場合、

すたに題かれてこるホームページから抱御された別のウ インドウに秘密情報が入力された段階で、前記他のユー ザの散定に基づいたホームページを敷示することを特徴 とする酢水項6または7に記載のホームページ投示装

【免明の詳細な説明】

[0001]

末におけるWebプラウザを利用したホームページ表示 方法に関するものであり、特に、ユーザ毎に適切なWe 【発明の属する技術分野】本発明は、複数ユーザ共有鑑 bプラウザ利用環境を提供するホームページ表示方法、 およびホームページ表示装置に関するものである。

【従来の技術】以下、従来のホームページ表示方法につ **末)の一権成例を示す図であり、詳価には、ユーザBが** 図8および図9において、1はユーザAとユーザBが便 0はユーザAのログイン環境であり、11はユーザAが (粘末) の一雄成例を示す図であり、群笛には、ユーザ A がWe b ブラウザを利用するときの動作を示す図であ 用したいる猫末(ボームくーツ殻形被倒)であり、 2 は 絡末1に搭載されているOS(オペワーチィングツステ ム) であり、3はWebプラウザブログラムであり、1 Webブラウザを利用するときの動作を示す図である。 る。また、図9は、従来のホームページ投示装置(増 表示したWebブラウザ画面(ホームページ)であり、 いて説明する。図8は、従来のホームページ表示装置 [0002]

特別2003-167848

3

、特許請求の範囲】

【酢求項1】 複数のユーザが共有可能な端末によるホ ームページ表示方法において、

された散定情報を読み出し、当該股定情報に基づいたホ で、当該秘密情報とWebプラウザの使用権を配証する い、認証後、前記ユーザにより所定の手頃で個別に生成 ューザを観別可能な秘密情報の入力が確認できた段階 ために設定された認証情報とを用いてユーザ認証を行 ームページを表示するホームページ表示ステップ、 を含むことを特徴とするホームページ表示方法。 【請求項2】 前記数定情報の生成時は、

**鍵を使用して設定情報を暗号化することによって、暗号 情報から生成した第2の鍵を使用して暗号化することに** 前記股定情報の更新毎に第1の鍵を生成し、当該第1の 化後の散定情報を生成し、さらに、第1の鍵を前記秘密 よって、第1の鍵の暗号化データを生成し、 一方、前記数定情報を読み出す場合は、

し、さらに、前記暗号化後の散定情報を再生後の第1の10 鍵を使用して復号することを特徴とする請求項1に記載 前記暗号化データを前記秘密情報から生成した第2の健 を使用して復号することによって、前記第1の鍵を再生

【耐水項3】 前記複数のユーザのうち、前記ユーザ個 のホームページ表示方法。

前記認証後、前記ューザ個別の散定情報と、前記共有数 別の設定情報の他に共有設定情報のアクセス権を持つユ **に信徴と、を読み出し、固方の危徴に基力いたホームく** ージを表示することを特徴とする請求項1に記載のホー ーザから、秘密情報の入力があった場合、

【顔求項4】 前記数定情報の生成時は、 ムペーン数示方法。

1の鍵を使用して共有般定情報を暗号化することによっ て、暗号化後の共有般定情報を生成し、さらに、第1の 応する秘密情報から生成した各第2の鍵を使用して個別 前記共有股定情報の更新毎に第1の鍵を生成し、当該第 鍵を、共有散定情報へのアクセス権を持つ各ユーザに対 に暗号化することによって、アクセス権を持つユーザ分 の暗号化データを生成し、

復号することによって、前記第1の鍵を再生し、さら 4 前記暗号化データを、ユーザ個別の第2の鍵を使用して に、前記暗号化後の設定情報を再生後の第1の鍵を使用 一方、前記股定情報を読み出す場合は、

「韓永氏5】 いずれやのユーナなすたにホームスーツ を聞いている状態で、新たに他のユーザがホームページ

して復号することを特徴とする耐水項3に記載のホーム

ヘージ表示方法。

符徴とする請求項1~4のいずれか一つに記載のホーム59 ザの散定情報に基づいたホームページを表示することを トでに関かれてこるホームページから起動された別のウ インドウに秘密情報が入力された段階で、前記他のユー

り、20はユーザBのログイン環境であり、21はユー

12はユーザAの使用しているブラウザ般定情報であ

ザBが表示したWebブラウザ画面(ホームページ)を あり、22はユーザBの使用しているブラウザ設定情報

一ザAが利用できるディレクトリ領域と同等の意味を持 つ。また、ユーザBのログイン環境20は、ユーザBが [0003]なお、ユーザAのログイン環境10は、ユ 利用できるディレクトリ領域と同等の意味を持つ。

[0004] ここで、図8,9におけるユーザA,Bの 動作について説明する。なお、ユーザAとユーザBが共 [0005]まず、ユーザAがログインし、Webプラ ザAのログイン環境10になっており、表示されている Webプラウザ画面11は、ユーザAの設定情報12に **ウザブログラム3を起動する。このとき、0S2はユー** 右している結末1において0S2が搭載されている。 描づいて扱示されている。

る。ユーザBは、自分のログイン環境20において、W10 e b ブラウザブログラム 3 を起動すると、ユーザBの般 ユーザBは、ユーザAが自分のパラメータや情報が設定 されたログイン環境からログアウトした後、ログインす に、ユーザBがWebブラウザの起動を希望する場合、 【0006】つぎに、ユーザAがログイン状態のとき 定情報22に基づいてホームページ21を閲覧する。 [0007]

ま同じ環境でWebブラウザを利用すると、ブックマーが 従来のホームページ表示方法においては、Webブラウ クや表示方法などの設定をすべての人に使いやすい状態 に維持することは難しい。また、閲覧履歴や諸散定がオ **ザの管理方法に問題があった。具体的にいうと、複数の** ユーザが共有する端末にカスタマイズされたWebブラ という問題があった。すなわち、複数のユーザがそのま る」、「勝手に更新されてしまう」、という危険性も高 ウザを利用しようとすると、安全性,利便性に欠ける、 【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記、 ープンとなるため、「他人に虹要なデータを盗まれ

ows (強毅雨標) 系OSの場合、ユーザが作業中に口い オペレータ番号とパスワードによって管理する方法が示 されているが、散定情報へのセキュリティ対策がなされ 直すことが考えられるが、OSの再ログインは、ユーザ お、Windows(登録商標)XPでは、ユーザの作 **戦中であっても別のユーザへのログイン切替えが可能で** 【0009】また、特開平9-24499号公報におい ては、共有端末においてアプリケーションの散定情報を [0008]また、上部のように、OSログインをやり また、Windows (登録商標) XP以前のWind あるが、複数環境を同時に立ち上げるため、負荷が大き の作業効率を著しく低下させる、という問題があった。 グアウトすることは難しい、という問題もあった。な く、突然の停留やハングアップへの対処に不安が残る。

スワードに関連させて作成,管理する方法が示されてい マイズが必要なパラメータはあるので、ブックマークセ は、Webブラウザのブックマークセットをユーザのバ るが、ブックマーク以外にも快適な利用のためにカスタ ットだけでは管理対象として十分ではない。

を閲覧する場合に、OSのログイン切替えを行うことな 【0010】本発明は、上記に鑑みてなされたものであ **して、複数ユーザが共有する端末を用いてホームベージ** く、同一ログインでもユーザ毎に適切なWeb ブラウザ 法、およびホームページ表示装置を得ることを目的とす 利用環境を提供することが可能なホームページ表示方

# [0011]

で、当該秘密情報とWebブラウザの使用権を認証する い、認証後、前記ユーザにより所定の手順で個別に生成 された散定情報を読み出し、当該散定情報に基づいたホ ームページを表示するホームページ表示ステップ、を含 目的を違成するために、本発明にかかるホームページ表 【課題を解決するための手段】上述した課題を解決し、 示方法にあっては、複数のユーザが共有可能な端末が、 ユーザを購別可能な秘密情報の入力が確認できた段階 ために設定された配証情報とを用いてユーザ配証を行 むことを特徴とする。

【0012】つぎの発明にかかるホームページ表示方法 において、前記散定情報の生成時は、前記散定情報の更 生成し、さらに、第1の鍵を前記秘密情報から生成した 第2の鍵を使用して暗号化することによって、第1の鍵 の暗号化データを生成し、一方、前記散定情報を読み出 の鍵を再生し、さらに、前記暗号化後の設定情報を再生 新毎に第1の鍵を生成し、当該第1の鍵を使用して設定 情報を暗号化することによって、暗号化後の設定情報を す場合は、前配暗号化データを前記秘密情報から生成し た第2の鍵を使用して復号することによって、前記第1 後の第1の鍵を使用して復号することを特徴とする。

【0013】つぎの発明にかかるホームページ表示方法 にあっては、前部複数のユーザのうち、前記ユーザ個別 ザから、秘密情報の入力があった場合、前記認証後、前 記ューザ個別の散定情報と、前記共有散定情報と、を読 み出し、両方の情報に基づいたホームページを表示する の散定情報の他に共有散定情報のアクセス権を持つユー ことを特徴とする。 【0014】 しぎの発明になかるホームページ数示方法 において、前記散定情報の生成時は、前記共有散定情報 **共有散定情報を暗号化することによって、暗号化後の共** 有散定情報を生成し、さらに、第1の鍵を、共有設定情 吸へのアクセス権を持つ各ユーザに対応する秘密情報か によって、アクセス権を持つユーザ分の暗号化データを 生成し、一方、前記散定情報を読み出す場合は、前記暗 の更新毎に第1の鍵を生成し、当該第1の鍵を使用して **ら生成した各第2の鍵を使用して個別に暗号化すること** 

ていない。また、特開平11-265335号公報で 50

号化データを、ユーザ個別の第2の鍵を使用して復号す ることによって、煎焙第1の糠を再生し、さらに、煎品 暗号化後の股定情報を再生後の第1の鍵を使用して復号 することを特徴とする。

布理2003-167848

Ξ

ん、前記他のユーザの数定情報に基づいたホームページロ 【0015】 つぎの発明にかかるホームページ表示方法 **にあっては、こずれかのユーザがすでにホームベージを 閲覧する場合、すでに関かれているホームページから起 聞いている状態を、疳たに缶のユーナがホームベージを** 動された別のウインドウに秘密情報が入力された段階 を表示することを特徴とする。

該設定情報に基づいたホームページを表示する表示手段い [0016] つぎの発明にかかるホームページ表示装置 にあっては、複数のユーザが共有可能な構成とし、特定 ユーザからのログイン操作および自身を機別可能な秘密 情報の入力、が確認できた段階で、Webプラウザプロ グラムを起動する起動手段と、前記秘密情報とWebブ ラウザの使用権を認証するために設定された認証情報と を用いてユーザ配証を行い、認証後、前記ユーザにより 所定の手順で個別に生成された散定情報を読み出し、当 と、を備えることを特徴とする。

【0017】 ひぎの発明にかかるホームページ表示装置 にあっては、前記複数のユーザのうち、前記ユーザ個別 の設定情報の他に共有設定情報へのアクセス権を持つユ 前記ユーザ個別の散定情報と、前記共有設定情報と、を 読み出し、両方の情報に基づいたホームページを表示す **一ずから、秘密情報の入力があった場合、前記認証後、** ることを特徴とする。

**にあっては、いずれかのユーザかすでにホームページを39** 【0018】 つぎの発明にかかるホームページ数示装置 開いている状態で、新たに他のユーザがホームページを 閲覧する場合、すでに関かれているホームページから起 た、前部他のユーザの股定情報に基づいたホームベージ 動された別のウインドウに秘密情報が入力された段階 を表示することを特徴とする。

なる。

を図面に基づいて詳細に説明する。なお、この実施の形 【0020】実施の形態1.図1および図2は、本発明 [発明の実施の形態] 以下に、本発明にかかるホームペ ージ表示方法およびホームページ表示装置の実施の形態 態によりこの発明が限定されるものではない。

[0019]

にかかるホームページ表形装置(端末)の実施の形態1 の構成例を示す図であり、詳細には、図1は、Webブ ラウザが必ずユーザの秘密情報を必要とする形態で、ユ 一ザAかWebプラウザを利用したときの動作を示す図 であり、図2は、同様の形態で、ユーザBがWebブラ 【0021】図1および図2において、1はユーザAと ウザを利用したときの動作を示す図である。

ザAが表示したWebブラウザ画面(ホームページ)を ページ)であり、22はユーザBの使用している散定情 報である。なお、上記散定情報とは、ブックマーク,ネ 2.1はユーザB か表示したWeb ブラウザ画面(ホーム ットワーク, 表示形式など、Webプラウザに関するパ であり、4はwebブラウザの使用権を認証するための ユーザ情報(端末のアカウント情報)であり、5はユー り、10はユーザAのログイン環境であり、11はユー あり、12はユーザAの使用している設定情報であり、 ザAの秘密情報であり、6はユーザBの秘密情報であ ラメータ情報である。

01はユーザAの散定データであり、302は散定情報 【0022】また、図3は、ユーザAが散定情報12を を暗号化するための鍵であり、303はユーザAの散定 51はユーザAの秘密情報5から生成した鍵であり、3 格納, 参照するしくみを示す図である。図3において、 り、304は躁302を躁51で暗号化した暗号化デー データ301を課302で暗号化した設定データであ タである。

の設定情報 12は、ユーザAの秘密情報 5により暗号化 **参照することもできない。ユーザAの般定情報12を作** きない。逆に、ユーザBの散定情報22を、ユーザAが 【0023】ここで、図1および図2を用いて、ホーム ラウザのユーザ倩報が格納されている。また、ユーザA されており、第三者であるユーザBが参照することはで 成するためには、秘密情報の入力もしくは参照が必要と **ページ表示またの動作を説明する。なお、予めューザ情** 報4には、端末1のアカウント情報に基づいてWebブ

【0024】ユーザAは、Webプラウザを利用する場 報5とユーザ情報4によりユーザ既証を行い、ユーザA の散定情報12を読み出す。その結果、増末1には、ユ 合、端末1にログインし、自分の秘密情報5を入力して る。Webブラウザブログラム3は、入力された秘密情 ーザAの設定に基づいたホームページ 1 1 が表示され Webブラウザブログラム3を起動する。秘密情報5 は、ユーザのID番号やバスワード,認証費に相当す

る場合、現在使用中のユーザAは、秘密保護のため、W 入力し、Webブラウザブログラム3を起動する。この ザBは、ユーザAと同様の手順で、自分の秘密情報6を とき、Webプラウザブログラム3は、入力された秘密 ユーザBの設定に基づいたホームページ21が表示され 【0025】 一方、ユーザBがWebブラウザを利用す ebブラウザブログラム3を終了させる。そして、ユー 情報6とユーザ情報4によりユーザ酩証を行い、ユーザ Bの散定情報22を読み出す。その結果、端末1には、

【0026】つぎに、図3を用いて、ユーザAの散定情 されているOSであり、3はWebプラウザブログラム\*\* 報が格納、参照されるしくみを説明する。ユーザAが設

ユーザBが使用している端末であり、2は端末1に搭載

成する。そして、Webブラウザブログラム3は、上記 暗号化データ304を作成し、暗号化後の設定データ3 定データ301を作成する場合、Webプラウザプログ ラム3は、設定情報が更新されるたびに、鏈302を生 **鍵302によって設定データ301を暗号化し、暗号化** (図1参照)から生成した鍵51により暗号化し、鍵の 後の股定データ303を保存する。さらに、散定データ 301を暗号化した躁302を、ユーザAの秘密情報5 03とともにユーザAの設定情報12に保存する。

【0027】また、Webブラウザブログラム3がユーロ ザAの散定情報を参照する場合は、ユーザAの暗号化デ ータ304を、ユーザAが入力する秘密情報5から生成 した疑51によって復号し、設定データを復号するため の鍵302を得る。そして、暗号化された設定データ3 ることによって、Webブラウザブログラム3は、設定 03を、上記のように復号した鏈302を用いて復号す データ301を参照する。

する場合であっても、オペレーティングシステムの切りい 【0028】このように、本実施の形態においては、複数のユーザが共有する端末を用いてホームページを閲覧 替えを行うことなく、個人がカスタマイズした快適な環 境でホームページを閲覧可能な構成とした。さらに、ユ 一ザ毎の秘密情報により、閲覧履歴や設定内容といった 個人情報を他人から守る構成とした。これにより、利便 安全性に優れた環境でホームページを閲覧すること

が、実施の形態2では、設定情報にアクセス権を持つユ14 は、互いにアクセス権を持たないユーザ同士が同一の増 【0029】実施の形態2、前述した実施の形態1で 末でWebブラウザを利用する場合について説明した ーザと特たないユーザが混在した場合について説明す

明する。なお、前述した実施の形態1と同様の構成につけ 【0030】図4は、本発明にかかるホームページ表示 詳細には、Webブラウザが必ずユーザの秘密情報を必 要とする形態で、互いに設定情報のアクセス権を持つユ ーザA, Bと、特たないユーザCが、Webブラウザを 利用したときの動作を示す図である。ここでは、端末1 の利用者としてユーザのが新たに増えた場合について説 装置(端末)の実施の形態2の構成例を示す図であり、 いては、同一の符号を付してその説明を省略する。

一ザ情報4には、ユーザAとユーザBだけが共有情報をso [0031]図4において、7はユーザCの秘密情報で あり、13は共有股定情報であり、31はユーザCの表 示したホームページであり、32はユーザCの散定情報 が存在する。共有設定情報13は、Webプラウザの設 定ユーザAとBの秘密情報5,6によって暗号化されて おり、ユーザCは、参照することができない。また、ユ である。なお、本実施の形態では、図1および図2と異 なり、ユーザAとBが共有して利用できる設定情報13

**参照できること、が記録されている。** 

データであり、502は設定情報を暗号化するための鍵 であり、503は設定データ501を鍵502で暗号化 後の散定データであり、52は韓502を鍵51で暗号 化した暗号化データであり、62は縺502を纏61で 【0032】また、図5は、ユーザA,ユーザBが共布 図5において、51はユーザAの秘密情報5から生成し た鍵であり、6 1はユーザBの秘密情報 6 から生成した **躁であり、501はユーザAとユーザBが共有する股定** 散定情報 13を格納,参照するしくみを示す図である。 暗号化した暗号化データである。

のときと同様の手頃で、共有般定情報13とユーザB箇 【0033】ここで、図4を用いて、ホームページ表示 Webブラウザブログラム3は、秘密情報5とユーザ情 報4によりユーザ酩怔を行い、共有するパラメータに関 しては共有股定情報13を、ユーザAに関しては固有の 散定情報12を、それぞれ参照し、ユーザA用のホーム **育の散定情報22を参照し、ユーザB用のホームページ** までの動作を説明する。たとえば、ユーザAは、秘密情 ペーシ11を表示する。一方、ユーザBは、ユーザAと は別の秘密情報6を入力して、Webブラウザを起動す る。このとき、Webブラウザブログラム3は、秘密情 報6とユーザ情報4によりユーザ酩証を行い、ユーザA 報5を入力し、Webブラウザを起動する。このとき、 21を表示する。

Webブラウザを起動した場合、ユーザCには、共有股 定情報13のアクセス権がないため、前述の実施の形態 1と同様に、ユーザC固有の設定情報32だけを参照し 【0034】また、ユーザCが秘密情報7を入力して、 たホームページ31が表示される。

【0035】つぎに、図5を用いて、ユーザAとユーザ る。たとえば、Webブラウザブログラム3は、設定デ 一夕501が更新される毎に縺502を生成する。そし って散定データ501を暗号化し、暗号化後の散定デー タ503を保存する。さらに、散定データ501を暗号 化した鍵502を、ユーザAの秘密情報5(図1)から 生成した鍵51と、ユーザBの秘密情報6(図1)から 生成した鍵61によって、個別に暗号化し、鍵の暗号化 データ52,62をそれぞれ作成する。そして、暗号化 後の散定データ503とともに暗号化データ52,62 て、Webブラウザブログラム3は、この鍵502によ Bの共有股定情報が格納,参照されるしくみを説明す を共有散定情報13に保存する。

【0036】また、Webブラウザブログラム3が共有 砂密情報 5 を入力し、Webプラウザブログラム 3 が暗 号化データ52を纏51で復号することによって、 散定 て、Webブラウザブログラム3が、設定データ503 を磔502で復号することによって、設定データ501 設定情報13を参照する場合、たとえば、ユーザAは、 データ503を復号するための鏈502を得る。そし

た環境でホームページを閲覧することができる。また、10 **一ザが共有する端末であっても、利便性,安全性に優れ** 個人で保持する情報や共有する情報を統合的に管理する [0037]このように、本実施の形態においては、設 **定データ501を直接ユーザの秘密情報によって暗号化** ・るのではなく、散定データ501の暗号化に用いる鍵 503とともに個別に保存することによって、安全で効 率的な情報の共有化を実現する。これにより、複数のユ 502を秘密情報に関連付けられたユーザ毎の鍵51, 61によって暗号化し、その暗号化データを散定データ

[0038] 実施の形態3. 前述した実施形態1,2 で は、必ずユーザの秘密情報を入力するようにしたが、実 瓶の形態3では、すでにWebブラウザを起動している 状態で新たに起動する場合に、秘密情報を入力する。

動作を示す図である。図りは、本発明にかかるホームベロ たときの動作を示す図である。なお、前述した実施の形 **整1および2と同様の構成については、同一の符号を付** 【0039】図6は、本発明にかかるホームページ表示 詳細には、ユーザAがWebプラウザを利用したときの ージ表示装置(端末)の実施の形態3の構成例を示す図 であり、詳細には、ユーザBがWebブラウザを利用し 装置(端末)の実施の形態3の構成例を示す図であり、 してその説明を省略する。

という効果を奏する。

情報は、ユーザAの利用環境、すなわち、ディレクトリい ジ表示までの動作を説明する。なお、予め秘密情報6に は端末1のアカウント情報に基づいてWebプラウザの ユーザ情報4が格納されている。また、ユーザAの設定 領域にあるため、OSの一般的なアカウント管理機能に い。また、ユーザBの設定情報22は、共有領域にある 【0040】ここだ、図6,図7を用ごて、 ተームくー より、第三者であるユーザBが参照することはできな がユーザBの秘密情報6で暗号化されている。

新たにユーザBがホームページを閲覧する場合、ユーザロ 【0041】まず、ユーザAが離もWebブラウザを表 ログラム3を起動すると、端末1には、設定情報12を Bは、自分の数定した環境でホームページを閲覧するた めに、すでに語かれているホームページ11から別のウ インドウを起動し、自分の秘密情報6を入力する。その **信果、端末1には、ユーザBの設定に基づいたホームベ 示させていない端末1にログインし、Webプラウザブ** 参照したホームページ11が表示される。 つぎに、ユー **ザAかすでにホームページ11を起動している状態で、** 

ーザが共有する端末において、煩雑な個人情報の入力作 【0042】このように、本実施の形盤では、複数のユ **築を軽減した場合であっても、利便性,安全性に優れた 環境でホームページを閲覧することができる。** 

帝国2003-167848

9

を閲覧する場合であっても、オペレーティングシステム **資な環境でホームページを閲覧できる。これにより、同** 【0044】つぎの発明によれば、ユーザ毎の秘密情報 の切り替えを行うことなく、個人がカスタマイズした快 一ログインでもユーザ毎に適切なWeb ブラウザ利用環 ば、複数のユーザが共有する端末を用いてホームページ 【発明の効果】以上、説明したとおり、本発明によれ 境を提供することができる、という効果を萎する。

を入力することとしたため、閲覧履歴や設定内容といっ

た個人情報を他人から守ることができる。これにより、

ページを閲覧できる。これにより、同一ログインでもユ ができる、という効果を奏する。また、個人で保持する 利便性,安全性に優れた環境でホームページを閲覧する 【0045】つぎの発明によれば、共有設定情報のアク セス権を持つユーザと持たないユーザが混在する場合で ことなく、個人がカスタマイズした快適な環境でホーム ーザ毎に適切なWebプラウザ利用環境を提供すること あっても、オペレーティングシステムの切り替えを行う 情報や共有する情報を統合的に管理することができる、 ことができる、という効果を築する。

を入力することとしたため、閲覧履歴や設定内容といっ 【0046】つぎの発明によれば、ユーザ毎の秘密情報 利便性,安全性に優れた環境でホームページを閲覧する た個人情報を他人から守ることができる。これにより、 ことができる、という効果を養する。

【0047】つぎの発明によれば、煩雑な個人情報の入 力作業を軽減した場合であっても、利便性、安全性に優 れた環境でホームページを閲覧することができる、とい う効果を奏する。

も、オペレーティングシステムの切り替えを行うことな を閲覧できる。これにより、周ーログインでもユーザ毎 に適切なWebブラウザ利用環境を提供可能なホームベ 【0048】つぎの発明によれば、複数のユーザが共有 く、個人がカスタマイズした快適な環境でホームページ する始末を用いてホームページを閲覧する場合であって ージ表示装置を得ることができる、という効果を奏す

一ザ毎に適切なWebブラウザ利用環境を提供可能なホ ことなく、個人がカスタマイズした快適な環境でホーム ページを閲覧できる。これにより、同一ログインでもユ 奏する。また、個人で保持する情報や共有する情報を統 合的に管理することが可能なホームページ表示装度を得 【0049】つぎの発明によれば、共有設定情報のアク セス権を持つユーザと持たないユーザが混在する場合で あっても、オペレーティングシステムの切り替えを行う **ームページ表示装置を得ることができる、という効果を** ることができる、という効果を築する。

【0050】つぎの発明によれば、煩雑な個人情報の入 力作築を軽減することが可能なホームページ表示装置を

3

[0043]

**得ることができる、という効果を奏する。** 

【図1】 本発明にかかるホームページ表示装置の実施 【図面の簡単な説明】

【図8】 従来のホームページ表示装匠の一構成例を示 【図9】 従来のホームペーシ表示装置の一構成例を示

す図である。 ず図である。

\*の形態3の構成例を示す図である。

【図2】 本発明にかかるホームページ表示装置の実施 の形態1の構成例を示す図である。

【図3】 ユーザAが設定情報12を格納,参照するし の形態1の構成例を示す図である。

1 ホームベージ表示装置(端末)、2 0S(オペレ

[符号の説明]

ーティングシステム)、3 Webプラウザブログラ

ム、4 ユーザ情報(端末のアカウント情報)、5,

31 Webブラウザ画面 (ホームページ)、12,2 6,7 秘密情報、10 ログイン環境、11,21,

2,32 散定情報、13 共有股定情報、51,6

【図4】 本発明にかかるホームページ表示装置の実施 の形態2の構成例を示す図である。 くみを示す図である。

【図6】 本発明にかかるホームページ表示装置の実施 【図5】 ユーザA,ユーザBが共有設定情報13を格 格,参照するしくみを示す図である。

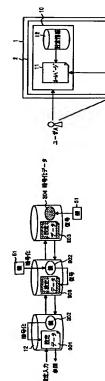
の形態3の構成例を示す図である。

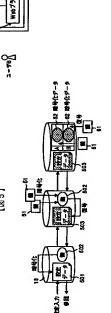
【図7】 本発明にかかるホームページ表示装置の実施

1,302,502 键、52,62,304 暗号化 データ、301,303,501,503 散定デー

[⊠2]

(⊠ 1.





[⊠2]

[98] [ 8 🛭 Van-E V×4-= [图7] [図4] Vv4-₹

フロントページの統幹

[⊠8]

[⊠3]

Va4-€

Fターム(参考) 5B085 AE01 AE29 BC01 BE07 BG07 5J104 AA07 KA01 HA02 PA07